

第5回 日本免震構造協会賞 - 2004 -

第5回 日本免震構造協会賞は、右に記す諸氏及び作品を表彰することに決定した。

表彰制度の目的

免震構造の技術の進歩及び適正な普及発展に貢献した者並びに建築物を表彰することにより、免震技術の確実な発展と安全で良質な建築物等の整備に貢献していくことが本協会の表彰制度の目的である。

表彰の対象

功労賞は、多年にわたり免震構造の適正な普及発展に功績が顕著な者に、技術賞は、免震建築物の設計、施工及びこれらに係る装置などについて研究開発により優れた成績をあげた者にそれぞれ贈る。作品賞は、免震構造の特質を反映した、優れた建築物とする。

表 彰

2004年6月10日

(社)日本免震構造協会通常総会後

(社)日本免震構造協会表彰委員会委員

和田 章(委員長) 石原直次 大越俊男
岡本 伸 五十殿侑弘 仙田 満

審査経過

本年は技術賞へ2件、作品賞へ16件の応募があり、功労賞への応募はなかった。各審査委員に全応募書類が送られ、これらの内容を各委員があらかじめ十分吟味した上で、初回の委員会を持った。審査委員の共通の第一印象は素晴らしい技術・作品の応募が増えたことにあり、限られた数の賞への選考は難しくなるとの雰囲気があった。それぞれの技術、作品について意見交換を行い、技術賞3件、作品賞6件を選び、1月から2月にかけて詳細説明又は現地説明を受けた。3月に最終委員会を持ち、審議を重ね満場一致で最終候補を決定した。技術賞については、公共建築物のレトロフィット、通信鉄塔を持つ建築物の新しい耐震設計技術が選ばれた。将来の可能性に向け、新しい免震技術が

選考結果

第5回 日本免震構造協会賞受賞は下記の7件である。

I 技術賞

- 1) 建物上部に大型タワーを搭載する免震建物に関する一連の取組み
株式会社 エヌ・ティ・ティファシリティーズ
中野時衛、斉藤賢二、土肥 博
鈴木幹夫、余湖兼右
- 2) <普及賞>村上市庁舎免震改修工事
村上市 佐藤 順、片野 清
鹿島建設株式会社 浅井 豊、石渡孝志、宮崎正敏

II 作品賞

- 1) 兵庫県立美術館
兵庫県 岸本勝也
安藤忠雄建築研究所 安藤忠雄
木村俊彦構造設計事務所 木村俊彦
金箱構造設計事務所 金箱温春
株式会社 大林組 小林英博
- 2) プラダ プティック青山店
プラダ ジャパン株式会社 Davide Sesia
株式会社 竹中工務店 小塚裕一、中井政義
大畑勝人、岡崎俊樹
- 3) セ・パルレ中央林間
株式会社 日建ハウジングシステム
上河内宏文、横山雄二
- 4) ポーラ美術館
株式会社 ポーラ化粧品本舗 井上定利
株式会社 日建設計 浅野美次、山本 裕
石田大三
株式会社 竹中工務店 黒崎信之
- 5) <特別賞>大阪市中央公会堂保存・再生
大阪市
大阪市住宅局営繕部
株式会社 坂倉建築研究所 太田隆信
株式会社 平田建築構造研究所 西村清志
株式会社 東京建築研究所 山口昭一
清水建設株式会社 保地洋志

(敬称略)

期待される。作品賞については、免震レトロフィット、集合住宅、2件の美術館、商業建築の新築建築が選ばれた。技術賞では研究開発の創造性、技術性に視点をおいているが、表彰制度の目的にある普及発展に努力工夫をした点を評価して1件について技術賞(普及賞)とした。作品賞では免震レトロフィットの作品について文化財保護の視点をも含めて評価し、作品賞(特別賞)とした。いずれも、免震構造の特長を十分に生かした素晴らしい作品である。

千葉県八千代台に積層ゴムを用いた免震建築が作られてから20年になり、免震構造は多くの人々に理解される技術として定着してきたように思える。

(和田 章)